

正誤表

雑誌「産婦人科の実際」第73巻1号（2024年1月号）に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2024年3月

金原出版株式会社

記

頁	10,11																																												
訂正箇所	表1内の薬剤名，妊娠初期の安全性，および注釈																																												
誤	<p><b>表1</b> 妊娠中の抗菌薬安全性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">薬剤名</th> <th colspan="3">安全性</th> </tr> <tr> <th>妊娠初期</th> <th>妊娠中期</th> <th>妊娠後期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">ペニシリン系薬</td> <td>ペニシリン G</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>アモキシシリン，アンピシリン</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>アンピシリン/スルバクタム，アモキシシリン/クラブラン産</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>ピペラシリン</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>ピペラシリン/タゾバクタム</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td></td> <td>メトロニダゾール*</td> <td>禁</td> <td>可</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ST合剤**</td> <td>禁</td> <td>可</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>テトラサイクリン系</td> <td>ミノサイクリン</td> <td>禁</td> <td>禁</td> <td>禁</td> </tr> </tbody> </table> <p>可：妊娠中に使用可能，有：有益性が上回る場合のみ使用可能，禁：使用禁忌          ○：第一選択薬として使用可能，△：有効性はあるが○の抗菌薬を優先して使用，×：有効性なし          *経腔的投与は極力控える          **経腔的投与は極力控える          ***葉酸の併用を検討          ESBL：extended-spectrum β-lactamase</p>	薬剤名		安全性			妊娠初期	妊娠中期	妊娠後期	ペニシリン系薬	ペニシリン G	可	可	可	アモキシシリン，アンピシリン	可	可	可	アンピシリン/スルバクタム，アモキシシリン/クラブラン産	可	可	可	ピペラシリン	可	可	可	ピペラシリン/タゾバクタム	可	可	可		メトロニダゾール*	禁	可	可		ST合剤**	禁	可	可	テトラサイクリン系	ミノサイクリン	禁	禁	禁
薬剤名				安全性																																									
		妊娠初期	妊娠中期	妊娠後期																																									
ペニシリン系薬	ペニシリン G	可	可	可																																									
	アモキシシリン，アンピシリン	可	可	可																																									
	アンピシリン/スルバクタム，アモキシシリン/クラブラン産	可	可	可																																									
	ピペラシリン	可	可	可																																									
	ピペラシリン/タゾバクタム	可	可	可																																									
	メトロニダゾール*	禁	可	可																																									
	ST合剤**	禁	可	可																																									
テトラサイクリン系	ミノサイクリン	禁	禁	禁																																									
正	<p><b>表1</b> 妊娠中の抗菌薬安全性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">薬剤名</th> <th colspan="3">安全性</th> </tr> <tr> <th>妊娠初期</th> <th>妊娠中期</th> <th>妊娠後期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">ペニシリン系薬</td> <td>ペニシリン G</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>アモキシシリン，アンピシリン</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>アンピシリン/スルバクタム，アモキシシリン/クラブラン酸</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>ピペラシリン</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>ピペラシリン/タゾバクタム</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td></td> <td>メトロニダゾール**</td> <td>有</td> <td>可</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ST合剤***</td> <td>禁</td> <td>可</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>テトラサイクリン系</td> <td>ミノサイクリン</td> <td>禁</td> <td>禁</td> <td>禁</td> </tr> </tbody> </table> <p>可：妊娠中に使用可能，有：有益性が上回る場合のみ使用可能，禁：使用禁忌          ○：第一選択薬として使用可能，△：有効性はあるが○の抗菌薬を優先して使用，×：有効性なし          *経腔的投与は極力控える  <u>**妊娠初期の内服投与は禁忌であるが，経腔的投与は有益性が上回る場合のみ可</u>          ***葉酸の併用を検討          ESBL：extended-spectrum β-lactamase</p>	薬剤名		安全性			妊娠初期	妊娠中期	妊娠後期	ペニシリン系薬	ペニシリン G	可	可	可	アモキシシリン，アンピシリン	可	可	可	アンピシリン/スルバクタム，アモキシシリン/クラブラン酸	可	可	可	ピペラシリン	可	可	可	ピペラシリン/タゾバクタム	可	可	可		メトロニダゾール**	有	可	可		ST合剤***	禁	可	可	テトラサイクリン系	ミノサイクリン	禁	禁	禁
薬剤名				安全性																																									
		妊娠初期	妊娠中期	妊娠後期																																									
ペニシリン系薬	ペニシリン G	可	可	可																																									
	アモキシシリン，アンピシリン	可	可	可																																									
	アンピシリン/スルバクタム，アモキシシリン/クラブラン酸	可	可	可																																									
	ピペラシリン	可	可	可																																									
	ピペラシリン/タゾバクタム	可	可	可																																									
	メトロニダゾール**	有	可	可																																									
	ST合剤***	禁	可	可																																									
テトラサイクリン系	ミノサイクリン	禁	禁	禁																																									

以上